

リーズン財団
主要な国際的有料道路企業一覧(抜粋)

Reason Foundationn

Major Global Toll Road Players

Policy Study No.334 May, 2005

<http://.reason.org/may2005/>

本資料は、作業用の資料として日本高速道路保有・債務返済機構が翻訳したものである。(翻訳 昆企画審議役)

主要な国際的有料道路企業一覧

会社名

株式時価総額

有料道路延長(マイル)

| Table: Major Global Toll Road Players | | |
|---------------------------------------|------------------------|----------------------|
| Company | Market Capitalization* | Miles of Toll Road** |
| Abertis | \$10.4 billion | 915 |
| ACS | \$ 7.7 billion | See note*** |
| Autostrade | \$10.4 billion | 2,080 |
| BRISA | \$ 4.0 billion | 610 |
| CINTRA | \$ 2.0 billion | 1,000 |
| Cofiroute | \$ 1.5 billion | 577 |
| Macquarie | \$ 5.5 billion | 930 |
| SyV | \$ 4.3 billion | 1,609 |

*Market capitalization is for the most recent available year and is for the whole company. In some cases, toll road activity is a small part of the total while in others it is the major or total business activity. Euros are converted to U.S. dollars at \$1.30 = E1, and Australian dollars at A\$ = \$0.80.

**Many private toll roads have multiple owners. The list presented here is the miles of toll road in which the company reports some share of ownership; hence, there is some degree of double-counting.

***ACS does not break out mileage numbers, but reports that it has "more than 50 toll concessions."

[出典] リーズン財団政策研究334号(2005年5月) p.46

(注) リーズン財団民営化年次レポート2007年版にも同じ表が掲載されている。

<各企業の概要> [上記出典からの翻訳(P.43-47)]

- **Abertis** Abertis は、スペインのバルセロナに本部があり、有料道路、駐車場、倉庫、空港及び基幹通信回線を所有、管理及び運営する約60の企業から構成される。2003年に長年続いたスペインの有料道路企業である Acesa Infraestructuraes、Aurea Concesiones de Infraestructuras 及び Iberpistas の3社の合併により創立された。Abertis は、株式時価総額104億ドル、従業員6千名、株主数1万である。同社は915マイルの有料道路及び9万の駐車スペースを運営し、スペインの最大手である。同社は南米でも有料道路事業を行っている。シカゴ・スカイウェイの入札では成功しなかった。料金収入は、年間約15億ドル。
- **ACS** 2003年10月に Dragados を吸収し、ACSは有料道路資産を有する欧州で最大のインフラ開発グループのひとつとなった。2003年の総売上は140億ドル、利益は6億5千万ドルで、従業員は3万3千名。2004年末の株式時価総額は77億ドルである。ACSは、ガス・パイプライン、発電プラント及び送電線、電気通信、水道、ゴミ埋立地及び有料道路を所有している。同社は、スペイン、イギリス、アイルランド、アルゼンチン、チリ及び南アフリカで有料道路事業を行っている。

- **Autostrade** イタリアで最大の有料道路運営者であり、欧州でも最大である。Autostrade は2,080マイルの有料道路を有しており、イタリアの高速道路ネットワークの約半分を占める。1925年に、当時は国営企業として、イタリアで最初の、かつ最長の高速道路であるミラノからナポリまでのA1を建設した。同社は他の有料会社の主要な株主となっている。同社は毎日4百万ドルの料金を収集し、年間収入は32億ドルである。国際的な活動としては、米国バージニア州のダレス・グリーンウェイの持分を保有し(その後売却したが、契約運用者として継続)、英国バーミンガムのM6有料道路の持分を保有している。Autostrade は、オーストリアの1,240マイルの自動車道で運用されているGoMaut オープンロード・トラック電子課金システムを設計し、運営している。同社は電子課金の先駆者で、イタリア国内でTelepassを運用しており、同社の自動車道のほか国内の他の十数の有料会社でも使われている。同社は有料環状道路を含む新規の有料コンセッションを積極的に獲得しようとしているとともに、古い自動車道を拡幅し最新化する126億ドルプログラムに焦点を合わせている。その中にはボローニャとフィレンツェの間のアペニン山脈に世界的にも最大規模のトンネルを建設することが含まれている。Autostrade は民営化され、1999年に大部分が投資者所有へ転換された。
- **BRISA** ポルトガルの最大の有料会社で、610マイルの有料道路を運営している。そのなかには、南北の幹線であるA2、東西のリスボン・スペイン間の幹線であるA6、リスボン大都市圏の環状道路及びいくつかの東西の分岐路を含む。株式時価総額は40億ドルで、ポルトガルで5番目に大きな会社である。同社は国内の自動車道収入の48%を占めている。収入は6億1千万ドルである。BRISA は、ブラジルで最大の有料道路運営者であるCCRの17%のシェアを保有している。同社のS&Pの格付はA+、Moody'sはA3である。BRISA は、1972年に国の有料道路機関として創立した。同社は国有の持株会社であるIPEが全株を保有する会社として設立された。同社は1997年から2001年の間で段階的に民営化され、1998年に投資者の所有が多数となった。それ以降、大規模な組織再編を行っている。
- **CINTRA** 社名は、スペイン語で交通インフラのコンセッション(英文 concessions in transport infrastructure)の頭文字から取ったものである。マドリードに本部があるFerrovial 建設グループによって創設され、CINTRA は少しの間、Ferrovial とMacquarie が共同で保有していた。2004年6月に、CINTRA はマドリード証券取引所で20億ドルの新規株式公募を行い、Ferrovial が多数持分を維持してはいるが、公開会社となった。Ferrovial は、欧州で最大の建設グループのひとつで、時価総額78億ドル、従業員4万5千人である。CINTRA の最大の有料道路投資事業は、カナダのトロントの407ETRである。同社はまた、シカゴ・スカイウェイのコンセッション、トランス・テキサス・コリダー35(TTC35)プロジェクトの主たる共同事業者である(TTC35では、CINTRA が85%、テキサスの建設会社のZachry が15%を保有し、50年間のコンセッションで、リオグランデ川(マッカラン)からオクラホマ州境までの800マイルの南北道路、鉄道及び可能な公益施設を開発・運営し、I-35の混雑緩和を図る。)300億ドルの可能性のあるプロジェクトは多くの段階により建設される予定である。テキサス州交通省との契約により、CINTRA グループは、総延長315マイル、費用59億6千万ドルと見積もられる有料

道路の5つの区間の開発に関する優先権を与えられている。これらは、オースチン地域の SH 130 有料道路を北方のダラス方向及びダラスの周り、及び南方のサンアントニオ方向に延伸するものである。CINTRA は、主として欧州（ポルトガル、アイルランド、ギリシャ、イタリア及びポーランド）及び米国で、有料道路コンセッション・プロジェクトの調査検討を行っている。Ferrovial は、1968年に Bilbao-Behera 有料道路コンセッションをコンソーシアムで取得して以来、インフラ市場での35年間の経験を有している。同社は、CINTRA を通じて、スペイン、ポルトガル、アイルランド、チリ及びカナダにおける約1千マイルに及び16の有料道路（24億ユーロ）を保有している。同社はまた、13の空港コンセッション（オーストラリア、イギリス、メキシコ及びチリ）及び18万の駐車スペース（ほとんどはスペイン）を有している。

- **Cofiroute** 同社は、フランスで完全に投資者所有の有料道路会社である。1970年に建設会社及び銀行のグループにより設立され、577マイルの有料自動車道を運営しており、フランスの有料道路ネットワークの約8分の1を占める。同社は、現在は、国際的にビルの建設・運営を行っている Vinci グループの傘下にある。Cofiroute は、パリの西部及び南西部の A10 及び A11 自動車道の開発を行った。以来、A71、A81、A85 及び A28 も追加した。同社は、自動車運転者向けのラジオ放送（Autoroute FM）の開発の先駆者である。同社の最も意欲的で目新しいプロジェクトは、A86 West である。それは、パリ地域の外郭環状道路の失われた環である。ほとんど全体が深く掘削されたトンネルであり、欧州で現在建設中の最大の公共事業プロジェクトである。このプロジェクトの22億ドルの費用は、70年間の有料コンセッションの見返りとして、Cofiroute の株主によって負担される。Cofiroute は、米国カリフォルニア州の SR 91 エクスプレス・レーンの共同事業者であった。現在は同社の米国子会社がオレンジ郡のもとで同エクスプレス・レーンを運用している。同社は、ドイツの7,460マイルの自動車道における GPS によるトラック課金システムを DaimlerChrysler 及び Deutsche Telekom と共同で運用している。同社は、イギリス最大の有料コンセッションであるロンドン東部、ダートフォードの M25 テムズ渡河（2つのトンネルと1つの高架橋で構成）を保有している。同グループは、チリの最大の有料道路のひとつである100マイルの Chillan-Collipulli 自動車道を保有している。同社は、ブラジル、ベニン、メキシコ、南アフリカ、ギリシャ、アイルランド、ノルウェー及びロシアでより小規模な有料道路運営を行っている。従業員2千人の国際企業で、昨年の収入は10億8千万ドルであった。
- **Macquarie** Macquarie グループは、従業員6千人で23カ国に展開している。同社は1980年代のオーストラリアでの金融規制緩和の産物であり、それにより投資銀行が繁栄することが可能となった。同社は1992年に設立され、あらゆる種類の資産の開発、資金調達及び所有に深く関わっている。有料資産のほとんどは、Macquarie Infrastructure Group (MIG) が保有しており、MIG は資産95億ドル、債務47億ドルで正味株主利益が48億ドルと報告している。株式時価総額は55億ドル。同社の最大の保有資産は、イギリスにおける自動車の時代では最初の有料道路である M6 Toll（2003年12月開通）を運営している Midland Expressway LLC の多数持分及び持分購入権、そしてカナダのトロントの407 ETR の

45%の持分である。同社は、オーストラリアのシドニー及びメルボルンの都市地域の6つの民営有料道路、ポルトガルリスボンの2つの有料橋梁、スペインの2つの有料道路及びドイツの1つの有料トンネルの多数持分を保有している。MIGはSan Diego Expressway Partnershipを保有しており、これは現在[訳注：2005年時点]米国で建設されている唯一の民営有料道路であるカリフォルニア州のSR125 Southである。同社はシカゴ・スカイウェイ・コンセッション会社の30%の持分を保有している。2004年12月にMacquarieは、Macquarie Infrastructure Companyを米国で登記し、ニューヨーク証券取引所に上場した。MICは、空港、地域エネルギー、水道、電気通信及び自動車道に投資している。同社は、イギリスのリーズの南部の19マイルのシャドー・トル運営会社であるConnect M1-A1 Ltdの50%の持分を保有している。

Macquarieグループは、地域の子会社の株式公募や基金の設立によって地域による投資の割合を高めている。これは、借入がプロジェクトを資金的に脆弱にするのに対して、忍耐強い資本投資を多く注入することに役立っている。同社の最もよくあるやり方は、いくつかの有料プロジェクトは同社が全て保有しているものもあるが、地域の会社とパートナーを組む方法である。同社の社名は、19世紀初期のイギリス人の州知事のLachlan Macquarieに由来しており、同氏は以前は有罪とされていたナショナリズムや経済開発を奨励したということでジョージ・ワシントンとアレクサンダー・ハミルトンの合いの子と見なされている。

- **Sacyr Vallehermoso** SyVとして知られている、このスペインの大手建設会社は、積極的なコンセッション部門を有している。この部門は、スペイン(682マイル)、チリ(360マイル)、ポルトガル(146マイル)及びブラジル(412マイル)で合計1,609マイルの有料道路を運営している。2004年の料金収入は、4億2千万ドルである。同社は、最近、コスタリカの37マイルのSan Jose-San Ramon有料道路プロジェクトの多数持分を取得した。SyVは、2003年にスペイン政府が主要な国営有料会社であるENAを売却した際に、3つの有料道路及び他の2つの多数持分を政府から取得した。グループ自身は、住宅建設会社のVallehermosoと大規模建設会社のSacyrが合併したものである。同社は、「グループはスペイン及び海外でのインフラ・コンセッションを伸ばしていくつもりであり、スペインでの今後の提案に参画するのみならず、例えばギリシャ、アイルランド、メキシコ及びイタリアの新規市場に進出するつもりである。」としている

<表掲載以外の企業の概要> [上記出典からの翻訳]

- **CHIC** CHICは、カナダ高速道路インフラ会社(Canadian Highway Infrastructure Corporation)で、Aeconグループ(カナダ)及びHochtief(ドイツ)に共同所有されている。CHICは、トロントの407ETR、Cobequid Pass有料道路(ノバスコシア)をデザインビルド・プロジェクトとして建設した。さらに、トランス・イスラエル高速道路(Trans Israel Highway)の長期コンセッションによる開発を進めている。
- **Hopewell Holdings Ltd.** Hopewell Holdings Ltd. は香港の会社であり、中国で急発展している広東省(珠江

のデルタ地帯)で、いくつかの主要な有料道路コンセッション・プロジェクトを開発した。タイにおけるコンセッション・プロジェクトで失敗した経験があるにもかかわらず、HHLは中国外での有料プロジェクトの探求を続けている。創立者の Gordon Wu は、プリンストン大学卒業で、有料道路への関心はニュージャージー・ターンパイクによって触発されたものである。

- **John Laing, plc** John Laing, plc はイギリスで最大のインフラ会社であり、幅広い種類の公共施設を、長期契約のもので、開発、運営及び所有している。1970年代に、スペインで最初の投資者所有の有料道路を建設し[訳注: Europistas の持分を保有]、1980年代にイングランドとウェールズとの間の Second Severn Crossing を建設した。同社の部門である Laing Roads は、フィンランド、ドイツ、ハンガリー、アイルランド、ノルウェー及びポーランドで有料道路コンセッションに従事している。
- **Skanska** Skanska は、スウェーデンで最大の株式公開された建設会社である。Skanska のBOT部局は、チリのサンティアゴにおける主要なコンセッション有料道路プロジェクトの開発者(ACSと共同)である。同社は、イギリス及び米国における有料道路事業の開拓に積極的である。
- **Transurban** Transurban は、オーストラリアのメルボルンの CityLink の開発者であり、シドニーで開発中の Westlink M7 有料道路及びメルボルンの F-M-F 有料プロジェクトについて多数持分を有している。同社は、米国における最近のいくつかの有料道路提案について、米国の会社とチームを組んでいる。